

# 第1回名寄市立大学再編構想調査特別委員会 概要報告

年月日	平成26年 9月 16日	会場	第1委員会室	案件	正副委員長の選任
出席委員	熊谷吉正、日根野正敏、奥村英俊、佐藤靖、東千春、駒津喜一、川口京二、山田典幸、大石健二、高橋伸典				
委員外議員	川村幸栄、上松直美				
欠席委員					

## 協議事項

正副委員長の選任

## 協議内容及び決定事項

仮委員長として熊谷吉正委員が就任し、委員長の推薦について図り、出席者全員から委員長指名の同意をえて、委員長に駒津喜一委員、副委員長に奥村英俊委員が指名され、本人並びに出席者全員が異議なく決定し、以後選任された委員長並びに副委員長が着席し次回の日程を議題とし9月29日午後1時30分名寄大学会議室と決定し、議事を終了する。

報告者 名寄市立大学再編構想調査特別委員会委員長 駒津 喜一

## 第 2 回 名 寄 市 立 大 学 再 編 構 想 調 査 特 別 委 員 会 概 要 報 告

年 月 日	平成 2 6 年 9 月 29 日	会 場	名寄大学会議室	案 件	大学再編調査
出席委員	熊谷吉正、日根野正敏、佐藤靖、東千春、駒津喜一、川口京二、山田典幸、大石健二、高橋伸典				
委員外議員	川村幸栄、上松直美				
欠席委員	奥村英俊				

### 協議事項

大学再編構想について資料により説明

1. 保健福祉学部の再編及び新学科設置計画の概要について
2. 保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画短期大学部児童学科の将来構想に関する検討経過について
3. 保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画短期大学部児童学科の将来構想に関する検討組織等について
4. 保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画に係わる数学上の手続きスケジュール等について
5. 学生確保志願者確保対策について
  - (1) 道内・全国で 1 8 歳人口の推移と大学等の進学状況
  - (2) 道内・全国で保育士養成施設の設置状況
  - (3) 保育士・幼稚園教諭の養成の道内先行大学の志願者の推移
  - (4) 高校生受験生の志願動向に関する予測等
6. 社会保育学科における人材養成について
  - (1) 保育士・幼稚園教諭の需給見通し
  - (2) 四年生の保育士・幼稚園教諭養成課程の必要性
  - (3) 卒業者の就職・就業見通し
  - (4) 就職・就業先の受け入れ等に関する予測等
7. 卒業後の具体的進路に係わる経済社会の人材需要について
8. 教員組織の編成・配置計画について
9. 社会保育学科の設置に係わる施設整備について

以上大学事務局より説明があり、その後各委員から質問があり答弁する

### 協議内容及び決定事項

保健福祉学部の再編及び新学科設置計画の概要についての説明を受け質疑した。次回の委員会審査として、資料請求の要望を各委員に募ったところ下記の請求があり、他の委員の同意を得て委員会として追加資料の要請をし終了する。

1. 他大学道内先行大学との授業料等の学費に関する比較資料
2. 短期大学及び保健福祉学部の就職・進学状況（10年程度）
3. 交付税措置の状況（4大化以降H25年度又はH26年度までの実績値）
4. 大学収支の実績
5. アンケート調査における「高校生・保護者ニーズと一致していない」ことに関する資料
6. 施設整備に関する具体的計画案と概算事業費（新設・改修・改造等の類型別）
7. 保育士及び幼稚園教諭の大卒・短大卒による採用募集状況比較（賃金等）

報告者 名寄市立大学再編構想調査特別委員会委員長 駒津 喜一

## 第3回名寄市立大学再編構想調査特別委員会 概要報告

年月日	平成26年10月23日	会場	名寄大学会議室	案件	大学再編調査
出席委員	熊谷吉正、日根野正敏、佐藤靖、奥村英俊、東千春、駒津喜一、川口京二、山田典幸、大石健二、高橋伸典				
委員外議員	川村幸栄				
欠席委員					

### 協議事項

#### 第2回委員会で求めた追加資料の説明

1. 他大学道内先行大学との授業料等の学費に関する比較資料
2. 短期大学及び保健福祉学部の就職・進学状況（10年程度）
3. 大学交付税措置の推移（4大化以降H25年度又はH26年度までの実績値）
4. 大学運営費の実質収支の推移
5. アンケート調査における「高校生・保護者ニーズと一致していない」ことに関する資料
6. 新設学科の設置に係る施設整備について
7. 保育士及び幼稚園教諭の大卒・短大卒による採用募集状況比較（賃金等）

以上大学事務局より説明があり、その後各委員との質疑応答があった。

### 協議内容及び決定事項

追加資料の説明と各委員の質疑応答後、各委員の同意を得て次回委員会審議の追加資料として下記の点について委員会として要請をし、質疑にあった認定こども園の動向については正・副委員長で調査することとし終了する。

1. 短大と新学科のカリキュラム比較表
2. 新学科設置における入学生の状況による収支見込（5%減・10%減比較）
3. 学生確保の見込みに関する資料
4. 入学志願者の出身地別状況に関する資料
5. 財政関連の質疑要旨

## 第4回名寄市立大学再編構想調査特別委員会 概要報告

年月日	平成26年11月6日	会場	名寄大学会議室	案件	大学再編調査
出席委員	熊谷吉正、日根野正敏、佐藤靖、奥村英俊、東千春、駒津喜一、川口京二、山田典幸、大石健二、高橋伸典				
委員外議員	川村幸栄、塩田昌彦				
欠席委員					

### 協議事項

青木学長より発言の希望がありこれを認め、名寄市立大学再編構想調査特別委員会報告資料に基づき、道内私学の動向、競合する大学の特徴、資格に関する状況から名寄大学として質の高いケアの専門職養成することが使命との説明があり、続いて第3回委員会でも求めた追加資料の説明

1. 現行短期大学部と新学科のカリキュラム比較資料
2. 新学科設置における入学生の状況による収支見込資料
3. 学生確保の見込みに関する資料
4. 入学志願者の出身地別状況に関する資料
5. 財政関連の質疑要旨

について大学事務局より説明があり、その後学長の発言も含め、各委員との質疑応答があった。

### 協議内容及び決定事項

追加資料の説明後、大学の地域貢献、交付税の動向、受験する学生の動向、カリキュラムの方向性についての質疑応答後、各委員の同意を得て次回委員会審議の追加資料として下記の点について委員会として要請をし、次回開催を11月18日と決定し終了する。

1. 公短協のアンケートの名寄分の経過
2. 自己評価の評価内容について
3. 短大と4大の比較シミュレーション

## 第 5 回 名 寄 市 立 大 学 再 編 構 想 調 査 特 別 委 員 会 概 要 報 告

年 月 日	平成 2 6 年 1 1 月 1 8 日	会 場	名 寄 大 学 会 議 室	案 件	大 学 再 編 調 査
出 席 委 員	熊谷吉正、日根野正敏、佐藤靖、奥村英俊、東千春、駒津喜一、川口京二、山田典幸、大石健二、高橋伸典				
委員外議員	上松直美、塩田昌彦				
欠 席 委 員					

### 協議事項

#### 第 4 回 委 員 会 で 求 め た 追 加 資 料 の 説 明

1. 公立大学に対するアンケートにおける名寄市立大学の回答内容に関する資料
2. 2010年度自己点検・評価において課題とした事項の改善状況に関する資料
3. 今後の市立大学の収支見込みに関する追加資料
  - ア 短期大学部が現行のままで推移した場合
  - イ 上記の想定で学生数が5%、10%減少した場合
  - ウ アの場合と4年生化した場合との比較対照表

について大学事務局より説明があり、その後各委員との質疑応答があった。

### 質疑の内容及び決定事項

質疑応答では、今後の交付税に関する質問に対し保健系で認定される見通しが高い。平成28年度以降の赤字に対しての補てんの考えについての質問に、理事者側で財政的な支えをどうしていくかは大きな課題と認識。中期財政計画はいつ示されるのかに対し、11月25日頃。再度、大学の地域貢献についての質問に、学生が700~800人いる事での町の活性化、特別支援教育で地域に貢献。学科間での格差があるというのはどういうことかに対し、社会福祉学科の評価が低かった。教育の質の保証をどうするかが、全ての大学の大きな課題。4年制化にあたっての児童学科の先生方の準備状況はの質問に、教職課程の審査を通すために関連する論文を増やすなど学科内で目標を定めて取り組んでいる。募集停止の関係、経営責任も含めた大学としての考え、赤字の部分も踏まえて周知不足と思われる。市民合意の関係で一定の時間が必要ではないかの質問に、募集停止は平成28年4月に新学科開設となると12月末と想定。経営と運営の考え方ではかなりの市民負担を求めることになるが、この点の市民合意を含めて財政負担については市民に説明していないのが現状。何をもっていつの段階で市民合意とするのかというところは考えなければならない。経営・運営上の考え方は、設置者が経営上の責任を負い、運営については大学と考えている。地方創生の関係で大学の運営に対する影響はの質問に、まだ見えない。との答弁があった。

次回の委員会は後日周知することとし終了する。

## 第6回名寄市立大学再編構想調査特別委員会 概要報告

年月日	平成26年12月4日	会場	名寄大学会議室	案件	大学再編調査
出席委員	熊谷吉正、日根野正敏、佐藤靖、奥村英俊、東千春、駒津喜一、川口京二、山田典幸、大石健二、高橋伸典				
委員外議員	竹中憲之、川村幸栄、上松直美、高野美枝子				
欠席委員					

### 協議事項

第6回委員会は、設置者である加藤市長を迎え開催し、冒頭加藤市長から2018年問題を見据えた大学間競争力の強化や地方創生の観点からも、国は幼稚園教諭や保育士など、質の高い専門職の養成をはじめ、再編強化した大学を活かして名寄ならではの特色ある地域のまちづくり推進に結び付けるため、改めて平成28年4月からの4年制化について決意が示された。

また、総務部次長からは、中期財政計画との整合性にかかわり大学運営費も含む一般会計は、平成27年度、28年度とともに厳しく、19億円程度の基金の繰り入れが必要との説明があった。

### 質疑の内容及び決定事項

質疑応答では、「財政が厳しい平成28年4月からの開学としたのは何故か」との質問に対し、加藤市長が「2018年問題を見据えた時、大学間の学生確保競争の激化が予想されることから、4年制の保健福祉学部を再編強化し、早い段階に設置して知名度を高めたい。また、国の地方創生の中には、公立大学を生かしたまちづくりが盛り込まれており、タイミングとしては、合っていると判断した」と説明。財政状況が厳しさを増す中で市民説明が充分ではないとの指摘については、「特別委員会の議論等を踏まえ、財政状況も含めて説明することが筋と考えた」との答弁があり、年度内に市民説明会を実施することが確約された。その他、「法人化の問題では、すでに学長からは学科の設立を含めて4大化をして最低限の図書館も含めて整備された段階で始めて法人化し、それから先が経営の問題として注視しなければならないとの考えを聞いているが、設置者の市長として近い将来の法人化、企業会計、特別会計としての考えを」との質問に、「法人化については、大学の中期計画としての議論の中から名寄市に相応しい経営の仕方を考えたい」と答弁があった。

質疑については以上で打ち切り、各委員から今回の案件に関する意見を求め全委員から意見があった。

諮問を受けた今定例会での報告について、事前に各委員に正副委員長で作成した報告書を提示し了解を求める事を決定し、特別委員会を結審した。